



※今月のみ受注の書目です。

ロシア政治

ロシア大統領権力の制度分析

(2025年2月中旬刊行予定)

長谷川雄之 (防衛省防衛研究所地域研究部米欧ロシア研究室研究員) [著]

A5判上製 / 320頁 税込予価 4,950円 ISBN978-4-7664-3008-0 C3031

👉ココに注目!

- ソ連解体後、現在の大統領権力の強大化までの制度的変化を解説する。
- 安全保障会議と大統領府を中心に、その役割と人事政策を分析。
- さらに、ウクライナ戦争開戦時と戦時下における組織運用の実態を探る。

プーチン政権下のロシアは、どのような制度改正と人事改革のもとで中央集権化を進めてきたのか。安全保障会議と大統領府を中心に、ソ連崩壊後からこれまでの安全保障戦略を読み解くカギを提示する。

対象 (ロシア・東アジア・ヨーロッパの安全保障を専攻する) 研究者、大学院生

類書 溝口修平『ロシア連邦憲法体制の成立』(北海道大学出版会)

【営業部からのおすすめポイント】

プーチン大統領によるウクライナ大規模侵攻の決定は世界を震撼させました。20年以上にわたり実質的な最高指導者の地位にあり、国際政治において独特な存在感を示してきたプーチンは、なぜ開戦に踏み切ったのか。本書は、そうした議論の前提となる、大統領権力を強化するために行ってきたロシアの政治制度と人事を中心とした変遷に焦点をあてる注目の1冊です。 (福本)

👉 目次、注文書、関連既刊は裏面に掲載! ぜひご確認ください!

【目次】

序章 現代ロシアの「超大統領制」——「強い大統領」プーチン

- 1 1993年憲法体制下の大統領権力とクレムリンの政治主導／
- 2 比較政治学における半大統領制と現代ロシア政治史——先行研究／ 3 分析手法と本書の構成

第1章 安全保障会議の制度設計

- 1 制度設計の過程／ 2 ロシア連邦憲法体制における大統領機構／ 3 「10月事件」と条文の「復活」／小括

第2章 エリツィンからプーチンへ——「垂直権力の構築」と安全保障会議

- 1 エリツィン政権期の政治過程と安保会議／ 2 プーチンとクレムリン——政治改革と「垂直権力」の構築／
- 3 統計分析からみた人事政策／ 4 連邦制改革における安保会議／小括

第3章 現代ロシアの安保法制——2010年安保法と総合調整メカニズム

- はじめに／ 1 安保会議附属省庁間委員会と「ロシア連邦国家安全保障戦略」／ 2 新たな安全保障法制／
- 3 2010年安全保障法の特徴／小括

第4章 ロシア大統領府——国家官僚機構の集権化と部門間対立

- 1 ロシア大統領府とは／ 2 第2次プーチン政権下の「内部部局増強」と人事政策／小括

第5章 2020年憲法改革——「超大統領制」の制度化

- 1 2020年憲法改革とは何か／ 2 制度変更にみる大統領権力——大統領・連邦政府・議会の相互関係／
- 3 2020年安保会議改革——安全保障会議副議長設置と安全保障法制の変容／小括

第6章 ウクライナ戦争とロシア大統領権力

- はじめに／ 1 戦時下の大統領権力の特徴／小括

終章 ロシアにおける大統領権力の特異性



ご注文は FAX で！ 03 - 3451 - 3124



番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	税込予価	部数
新刊委託		長谷川雄之 著	4,950 円	★★
		ロシア大統領権力の制度分析 ISBN978-4-7664-3008-0 C3031		

★1つで「500部」を表します

関連既刊（ぜひ併せてご注文ください！）

番線	ご注文部数	発行所：慶應義塾大学出版会	定価(税込)
返品条件付注文品		河西陽平 著 スターリンの極東戦略 1941-1950 —インテリジェンスと安全保障認識 ISBN978-4-7664-2911-4 C3031	4,950 円
		ティモシー・スナイダー 著／池田年穂 訳 自由なき世界 上—フェイクデモクラシーと新たなファシズム ISBN978-4-7664-2665-6 C0031	2,750 円
		ティモシー・スナイダー 著／池田年穂 訳 自由なき世界 下—フェイクデモクラシーと新たなファシズム ISBN978-4-7664-2666-3 C0031	2,750 円